

平成28年度 医動物・種類同定検査のまとめ(7~9月)

医動物担当では、人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かるため、効果的な対策を立てることにつながります。

平成28年7月から9月の種類同定検査件数は、4件でした。内訳は昆虫類3件(コウチュウ目2件、ハチ目1件)、その他の節足動物1件(クモ目1件)でした。

主な検査結果の詳細は以下のとおりです。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、体長)	同定結果	生態・その他
ビルの1階(半地下部分)に虫が大量発生している	 <p>成虫、黒褐色、約12mm</p>	オオホシボシゴミムシ (コウチュウ目)	成虫は4~11月ごろに出現する。落ち葉やゴミ、石の下などに生息する。普通種で日本に広く分布する。
家の中に多数の虫がみられる	 <p>成虫、赤褐色、2.5mm</p>	アズキゾウムシ (コウチュウ目)	成虫は貯蔵中のアズキの表面に産卵する。幼虫は豆の中に食い入って成長する。アズキの他に、ササゲ、エンドウなども食害する。
夏に大量の羽虫が屋内に侵入する	 <p>有翅虫(雄)、黄褐色、約2mm</p>	フタフシアリ亜科の一種(ハチ目)	アリ類は決まった時期、無数の有翅虫(雌雄成虫)が結婚飛行のため巣から飛び立つ。種類によって結婚飛行の時期は異なる。雄成虫は飛行を終えた後に、灯火に誘引され、多くの個体が窓際に飛来して家屋内に侵入し、不快害虫となることが多い。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、体長)	同定結果	生態・その他
エアコン室外機側面にクモが営巣していた	 <p>成虫(雌)、灰褐色、9mm</p>	ハイイロゴケグモの雌成虫および卵囊(クモ目)	成虫の体は褐色または灰褐色で個体差がある。腹部背面に4個の白点がある。腹面にゴケグモ類特有(砂時計型)の赤い斑紋がみられる。全世界の熱帯、亜熱帯、温帯の一部に分布する。
	 <p>成虫(腹面)、砂時計型の赤い斑紋</p>	 <p>卵囊、乳白色、約10mm こんぺいとう 金平糖状</p>	

セアカゴケグモやハイイロゴケグモに気を付けましょう!!

—ゴケグモ類を見つけたら、決して素手では触らないでください!—



セアカゴケグモやハイイロゴケグモは、外来種で、メスのみ毒をもちます。巣はベンチの下や側溝の蓋の裏側、ガードレールの支柱付近など、地面に近く、直射日光が当たらない場所に造られます。

咬まれると激しい痛みや腫れを生じることがあります。重症化することは少ないですが、万一激しい痛み、発汗、発熱などが現れた場合には、医療機関で診察を受けてください。



セアカゴケグモ



ゴケグモ類を発見した場合には、お住まいの区の福祉保健センター生活衛生課までご連絡ください。